

■ カルマの説明

【カルマとは】

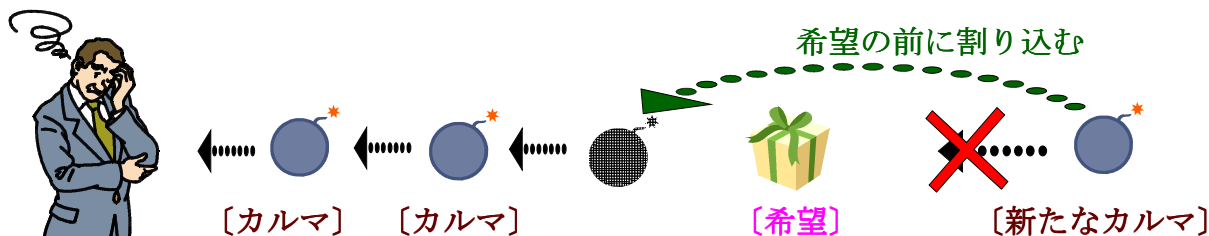
- 5
- 自分が行ってきたすべての行為のことで、良い意味でも悪い意味でも使用します。また、業ごうや因果いんがと表現する場合があります。
 - 業ごうとは、自分の行った悪い行為を表すことなので、カルマと意味は近いですが悪い意味だけに使用します。
- 10
- 罪つみとは、『神』の御心みこころに反したことなので、悪い意味だけに使います。
 - 因果いんがとは、原因から生じる結果です。自分の行った良い行為や悪い行為に応じて、それに相当する良い報むくいや悪い報むくいがあることです。
- 15
- 文字の意味では、良い事も悪い事も含んでいますが、良い意味で使用することはあまり無く、悪い意味で使用する人が多いです。
 - 地域・民族・国家単位れんたいてきの連帯的なカルマもあります。
(例：国のカルマを国民が背負うなど。)

20

【カルマと希望】

- 希望は、カルマの後ろで待っています。新たなカルマは希望の前に割り込みます。カルマを新たに作ると、次々にカルマが希望の前に割り込み希望が叶いません。新たなカルマを発生させるということは、自ら希望を遠ざけることになります。
 - カルマは苦しい思いをしなくては消える事はありません。
- 30
- カルマが全部無くなると、希望すが直ぐに実現します。

35



40